

医薬分野へ提案強化

森六、新たに中・印社品

ファインケミカル製品

森六はファインケミカル製品の医薬分野への提案を強化する。臭素化合物や水素化ホウ素ナトリウム(SBH)などの既存製品に加え、新たに新亜強硅化学(中国・江蘇省)のシリコーン中間体や、スヨソライフサイエンス(インド・グジャラート州)の医薬中間体などの取り扱いを開始した。今後医薬品メーカーなどに向け、これら医薬関連材料の提案・販売を促進していく。

冷凍粉砕受託も視野

森六はファインケミカル製品の販売において、日本総代理店を務めるケマダ(イストラエル)の臭素化合物や、ケミラ(フランス)のSBHをはじめ、世界各国の商材を取り揃え顧客に販売している。ケマダの臭素化合物は死海由来の臭素を使用しているため供給が安定し

ており、リーズナブルな価格で提供可能。医薬品中間体として農業メーカーや医薬品メーカーなどに供給している。またケミラのSBHは効果が高く選択性に優れる還元剤で、医薬品中間体やファインケミカル製品の製造に使用されている。

ある五興化成工業の医薬品中間体受託のニーズ掘り起こしにも取り組む。今回、提案を開始したシリコーン中間体を製造する新亜強硅化学は、同製品に特化した展開を図っている企業。実績のある医薬向けに加え、電材向けとなるシラン化合物のラインアップも拡大し

ているという。

またスヨソは、03年に設立された研究開発型の製薬企業で、医薬品有効成分(API)や医薬品中間体、特殊化学品の研究

究開発・製造・販売を主力事業としている。製薬やホームケア、パーソナルケア業界向けの、技術的に複雑で高度な中間体の開発と製造に強みを持っている。

これら製品の販売に加え、今後は若谷瓦斯との合併会社であるアイ・エム・マテリアルが行っている冷凍粉砕受託の医薬分野における展開も視野に入れている。

森六はこのような新しい製品やサービスを加えることによって、医薬分野における新規顧客の獲得を狙う。



新亜強硅化学のシリコーン中間体